

(常磐地区まちづくり検討会)
令和3年度
第1回ワーキンググループ会議
(HuLabo①②③合同開催)



- 1 ワーキンググループについて . . . P 1～9
- 2 各施策案の概要と検討のポイント ・P ※
※別紙「検討資料」を参照
- 3 今後の進め方 P10～12

日時：令和3年10月6日（水）18時30分～
場所：常磐公民館 2階 第1会議室



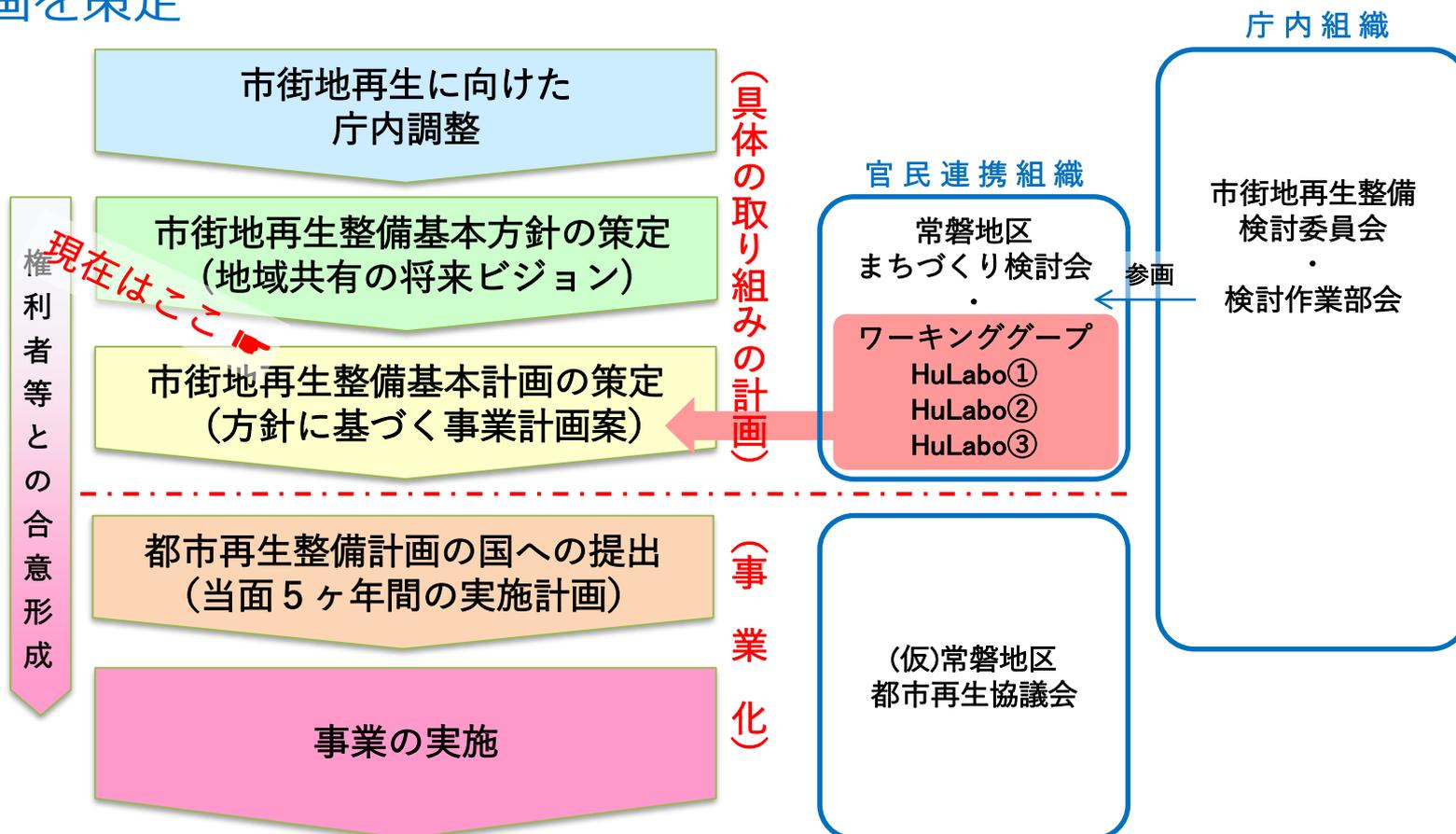


1 ワーキンググループについて



(1) 市街地再生に向けた全体の流れ

- まちづくり検討会において、市街地再生の目標や施策の方向性（方針）を検討し、「常磐地区市街地再生整備基本方針」を策定
- 今後は、まちづく検討会内に設置したワーキンググループにおいて、方針に基づく具体的な施策（事業計画案）を個別に検討し、基本計画を策定





1 ワーキンググループについて



(2) 常磐地区市街地再生整備基本方針（将来ビジョン）

- 現状と課題を再整理・共有

現状



低未利用地の増加
(空き地や空き店舗の増加)



観光・商業の低迷
(観光客減少や商店街魅力低下)



多様な地域資源
(資源の活用・連携不足)



公共施設の老朽化
(法定耐用年数の超過)

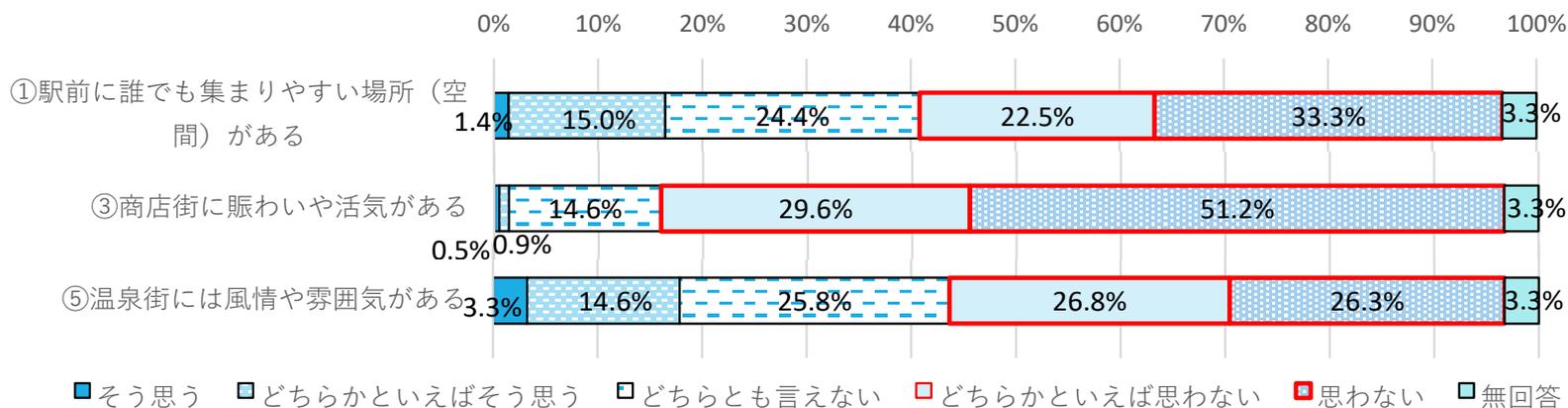
課題

土地の有効活用による
交流空間の創出

温泉街・商店街の
賑わい再生

観光地としての
魅力向上

将来を見据えた
公共施設の集約・再編



グラフ 住民アンケート (湯本駅周辺の印象について) 結果 ※一部抜粋



1 ワーキンググループについて



(2) 常磐地区市街地再生整備基本方針（将来ビジョン）

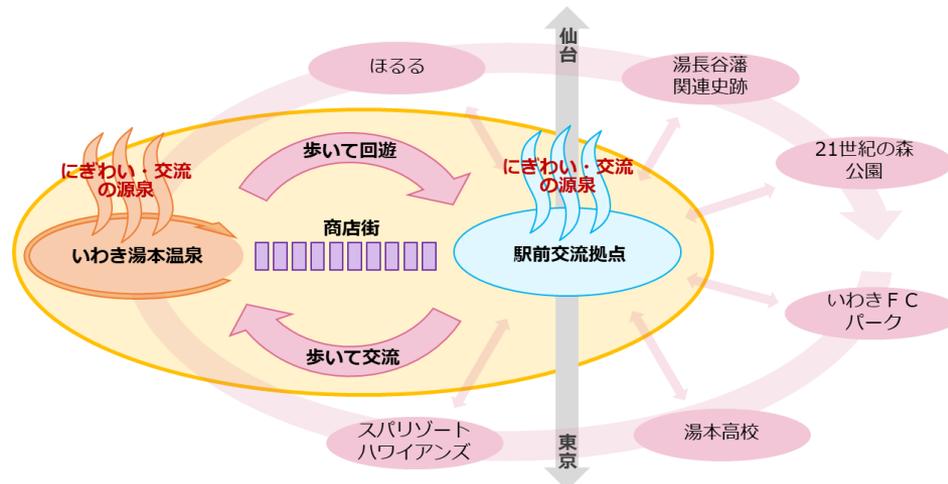
- 現状や課題等を踏まえ、市街地再生の目標を設定
- 常磐地区が置かれている現状・課題や、まちづくり検討会における検討、住民アンケート等により寄せられた意見などを踏まえ、市街地再生に向けた目標を設定

駅周辺の再編と交流空間の創出による市街地の再生 ～「温泉」と「フラ」を活かしたにぎわい・交流の源泉づくり～

常磐地区は、温泉資源のほか、「フラ」の文化が浸透している特色あるまちです。

これらの**豊富で特色ある資源を活用しながら、いわき湯本温泉の豊富な源泉のように、まちに多くの人々が行き交う、にぎわいのある交流空間の創出**に向けた、基盤整備などのハード事業のほか、にぎわいと交流に寄与するソフト事業の展開により、市街地の再生を目指します。

また、**将来的にも“持続可能なまち”**として、主に市内外の若い世代に“選ばれるまち”となるよう、様々な事業展開を図りながら、幅広い世代が「訪れたい」「暮らしたい」と思えるような、市街地の再生を目指します。





1 ワーキンググループについて



(2) 常磐地区市街地再生整備基本方針（将来ビジョン）

- 目標達成に必要なとなる施策の方向性（方針）を位置付け

【方針4】

温泉街の滞留拠点の形成



【参考イメージ】

- 温泉神社周辺において、温泉の湯気を漂わせながら、情緒ある雰囲気醸成し、温泉街の拠点となる滞留空間の形成を図る。

【方針5】

歩きたくなる沿道景観・道路空間の整備



【参考イメージ】

- 常磐地区が育んできた歴史や文化を感じられる沿道景観の整備により、楽しく散歩できるまちの形成を図る。

【方針3】

商店街のにぎわい再生



【参考イメージ】

- 空き店舗や公共空間等の活用により、市内外の人々が行き交う商店街の形成を図る。



【方針1】

多世代が集う交流拠点の整備



【参考イメージ】

- 駅前街区を再編し、拠点施設や駐車場、オープンスペース等の適正な配置（一体的な土地利用）により、交流拠点の形成を図る。
※公共施設の集約・複合化を含めて検討

【方針2】

温泉とフラのまちの玄関口としての景観整備



【参考イメージ】

- JR湯本駅から御幸山までの道路景観の整備や、御幸山公園・駅前緑地の改修により、まちの玄関口の形成を図る。

※ 交流拠点の整備などについて、地権者の了解を得たものではありません。



1 ワーキンググループについて



(3) HuLabo (フラボ) の設置

- 方針に基づく施策を個別具体的に検討するため、施策の関係性などから、3つのワーキンググループを設置

HuLabo①：居心地のよい駅前空間づくり検討ワーキンググループ

【方針1】

多世代が集う交流拠点の整備

- 駅前街区を再編し、拠点施設や駐車場、オープンスペース等の適正な配置（一体的な土地利用）により、交流拠点の形成を図る。
※公共施設の集約・複合化を含めて検討

- ① 駅前街区の再編
- ② 拠点施設・駐車場の整備
- ③ 駅前広場の再整備
- ④ 市営住宅跡地の暫定利活用
- ⑤ 公共施設の集約・複合化後の跡地活用
- ⑥ . . .

どんな活動する？
求められる機能は？
駅前で居心地がいい
空間ってどんな感じ？
どんな土地利用？

具体的内容は？

【方針2】

温泉とフラのまちの玄関口としての景観整備

- JR湯本駅から御幸山までの道路景観の整備や、御幸山公園・駅前緑地の改修により、まちの玄関口の形成を図る。

- ① 湯本駅から御幸山公園までの道路景観整備
- ② 御幸山公園の改修
- ③ 湯本駅前緑地広場の改修
- ④ . . .

どんなデザイン？

具体的内容（機能）は？
どんなデザイン？



1 ワーキンググループについて



(3) HuLabo (フラボ) の設置

HuLabo② : 商店街にぎわいづくり検討ワーキンググループ

【方針3】 商店街のにぎわい再生

- 空き店舗や公共空間等の活用により、市内外の人々が行き交う商店街の形成を図る。

- ① 空き店舗を活用した新規出店サポート
- ② 路上や空き地等を利用したにぎわいづくり
- ③ . . .

具体的な場所は？
プレイヤーは？
どんな支援制度がある・必要？

HuLabo③ : 情緒ある温泉街づくり検討ワーキンググループ

【方針4】 温泉街の滞留拠点の形成

- 温泉神社周辺において、温泉の湯気を漂わせながら、情緒ある雰囲気醸成し、温泉街の拠点となる滞留空間の形成を図る。

- ① 温泉神社周辺への滞留拠点の形成
- ② . . .

どんなイメージ？

【方針5】 歩きたくなる沿道景観・道路空間の整備

- 常磐地区が育んできた歴史や文化を感じられる沿道景観の整備により、楽しく散策できるまちの形成を図る。

- ① 道路景観の整備
- ② 夜間景観づくり
- ③ 安全な歩行者空間づくり
- ④ まち歩きの促進
- ⑤ . . .

具体的な場所は？
どんなデザイン？
プレイヤーは？
支援制度は？

具体的な場所・内容は？

まちを歩かせる仕掛けづくりはどんなもの？



1 ワーキンググループについて



(3) HuLabo (フラボ) メンバー

地域団体	HuLabo ①	HuLabo ②	HuLabo ③
じょうばん街工房21	●	●	●
常磐地区まちづくり懇談会	●	●	●
いわき湯本温泉観光協会	●	●	●
いわき湯本温泉旅館協同組合	●		●
いわき観光まちづくりビューロー	●	●	●
常磐湯本財産区管理会	●		●
常磐湯本温泉株式会社	●		●
常磐地区行政嘱託員協議会	●	●	●
いわき湯本温泉商店会連合会	●	●	●
いわき商工会議所	●	●	●
いわき商工会議所常磐地区委員会	●	●	●
常磐方部PTA連絡協議会	●		
常磐地区文化協会	●		
常磐地区体育協会	●		
いわき市社会福祉協議会常磐地区協議会	●		



1 ワーキンググループについて



(3) HuLabo (フラボ) メンバー

行 政	HuLabo ①	HuLabo ②	HuLabo ③
市政策企画課	●		
市創生推進課	●	●	
市スマート社会推進課	●	●	●
市施設マネジメント課	●		
市総務課	●		
市常磐支所市民課	●	●	●
市常磐支所経済土木課	●		●
市文化振興課	●		
市スポーツ振興課	●		
市観光交流課	●		●
市観光事業課	●		●
市市民生活課	●		
市商業労政課		●	
市土木課			●
市総合交通対策担当	●		
市都市整備課	●		
市公園緑地課	●		
市生涯学習課	●		
市いわき総合図書館	●		
県いわき建設事務所(企画調査課、道路課)	●		●
市都市計画課 (事務局)	●	●	●



1 ワーキンググループについて



(4) 各施策の検討にあたって

- ワーキンググループで検討する各施策は、最終的に、①内容、②実施場所、③実施主体、④活用が想定される制度、⑤事業のスキーム、⑥基本構想図、⑦概算事業費、⑧実施までのプロセスなどを整理し、事業計画案として「市街地再生整備基本計画」に位置付け
- ワーキンググループでは、事務局が作成する検討資料（各施策のたたき台）をもとに、論点（検討のポイント）に沿って検討
ex.交流拠点に必要な機能は？ どんなデザイン・雰囲気がいい？ …
- 第1回ワーキンググループ会議の目的は、
 - ① 施策の概要と検討のポイントを、メンバー全員で共有すること（全体像を把握してもらうため合同で開催）
 - ② 第2回会議では、各グループで引き続き検討のポイントに基づき検討（本日も時間の範囲内で意見交換）
- 検討を深めながら、たたき台を進化させ、事業計画案を作成

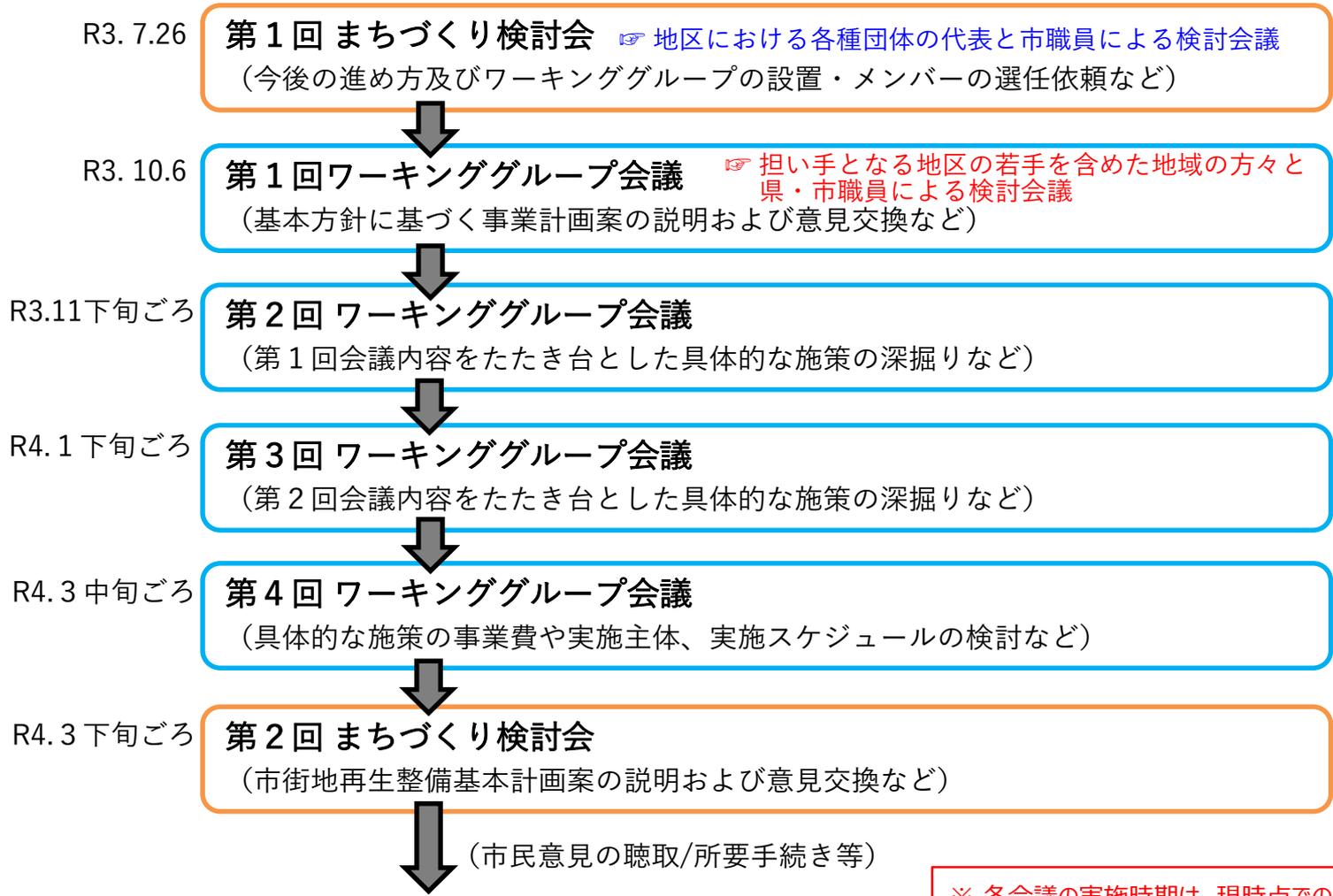


3 今後の進め方



(1) ワーキンググループの開催時期（案）

- 各グループの第2回会議は11月下旬頃の開催を予定



会議開催後は、市公式HPにて概要をお知らせ。各団体においても皆様への周知をお願いします。

※ 各会議の実施時期は、現時点での予定です。
 ※ 検討状況により、会議回数・内容は、変更となります。

R4年度 春～夏
ごろ

常磐地区市街地再生整備基本計画の策定・公表



3 今後の進め方



(2) ワーキンググループの開催方法（案）

- 関係団体が多く、施策の関連性が強いHuLabo①③は、時間を区切った同日開催（HuLabo②は別日開催）

HuLabo①：居心地のよい駅前空間づくり検討ワーキンググループ

HuLabo②：商店街にぎわいづくり検討ワーキンググループ

HuLabo③：情緒ある温泉街づくり検討ワーキンググループ

地域団体	HuLabo ①	HuLabo ②	HuLabo ③
じょうばん街工房21	●	●	●
常磐地区まちづくり懇談会	●		
いわき湯本温泉観光協会	●	●	●
いわき湯本温泉旅館協同組合	●		●
いわき観光まちづくりビューロー	●	●	●
常磐湯本財産区管理会	●		●
常磐湯本温泉株式会社	●		●
常磐地区行政嘱託員協議会	●	●	●
いわき湯本温泉商店会連合会	●	●	●
いわき商工会議所	●	●	●
いわき商工会議所常磐地区委員会	●	●	●
常磐方部PTA連絡協議会	●		
常磐地区文化協会	●		
常磐地区体育協会	●		
いわき市社会福祉協議会常磐地区協議会	●		



3 今後の進め方



(3) メンバーへの宿題（【別紙】意見照会様式）

HuLabo①

- 交流拠点への導入機能を想定しながら、駅前が変わることをイメージして、「こうなったらいいなと思う生活シーン」を教えてください。

ex.図書館から本を持ち出し、外でコーヒー飲みながら読書している。外の芝生の上でヨガ教室やフラダンス教室が開かれ、そこに観光客も参加している。開放的な行政窓口の待合場所で、知り合いとおしゃべりしている。高校生が学校帰りに、ちょっと勉強している。フラミュージックが流れゴロゴロしている。など

HuLabo②

- いわき湯本温泉の商店街として、「このジャンルのお店や体験メニューがあったらいいな」と思うものを教えてください。

ex.食べ歩きできるお店。せんべいづくり体験。いわきの土産アンテナショップ。浴衣・着物レンタル店と着付け体験。地酒やクラフトビール試飲店。など

HuLabo③

- 歩きたくなる沿道景観として、「あのまちの雰囲気よかったな、あの温泉街の夜景はよかったな」と思う場所を具体的に教えてください。

ex.渋温泉(長野)のレトロな街並みと石畳。月岡温泉(新潟県)華あかりプロジェクトの行燈。など

その他、HuLabo①②③の取り組みとして、連携した実施が想定される施策（事業アイデア）などがありましたら、提案をお願いします。

■様式：【別紙】意見照会様式

■提出先：都市計画課都市再生係

メール：toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp

f a x : 0246-24-4306

郵 送：〒970-8686 いわき市平字梅本21 都市計画課行き

■切 切：令和3年10月27日（水）まで

■連絡先：0246-22-7513



おしまい

